

## ESD（持続可能な開発のための教育）

### みんなが共存出来る町 “多米” ～地域の自然・文化・人から学ぶ活動を通して～

#### — 多米小学校 H27年度の取り組み —

##### （１）校区を流れる朝倉川的环境保全と川に親しむ学習

学校のすぐそばを流れる朝倉川は、5月になると美しいホタルの光で包まれる。毎年4月に地域の人たちと行うその川の清掃をかわきりに、地域の自然や文化、人から学ぶ活動を繰り返し広げている。今年は、雨で中止になってしまったが、毎年6月には、『ホタルを観る会』を企画し、ホタルを守る会の方のお話を聞いたり、ホタルを觀賞したりする。1、2年生の生活科では、川で生き物をとったり、水遊びをしたりしている。川を身近に感じたり、愛着をもったりする子が増えてきている。中校舎2階の渡り廊下には、『多米っ子水族館』という水槽が並ぶ児童の憩いの場所がある。そこには、朝倉川の魚も含めたさまざまな魚が生物委員会によって大切に育てられている。



朝倉川清掃活動

##### （２）日本や地域の伝統を学ぶ

1年生の生活科では、日本に昔から伝わる遊びを学ぶ。10月には『昔遊びの会』を開き、校区の老人会の方々から伝統的な遊びを教えていただいた。こま回しや凧揚げ、お手玉等、お年寄りや友達とかかわりながら楽しむことができた。

5年生の総合的な学習では、地域の方に米作りを教えていただいた。収穫した米を用いて、1月には五平餅づくりを行った。岩谷緑地の会の方々からいろいろ教えていただいたり、手伝っていただいたりして、時を経て受け継がれてきたもののよさを感じることができた。



老人会の方と一緒に輪投げで遊ぶ

### (3) 国際交流・国際理解



カナリーニョの会でブラジル料理作り

本校は、外国人児童、特別支援学級児童も多く、文化、言語、国籍をはじめとするさまざまな違いをお互いに理解し、認め合いながら成長していくことが大切だと考えている。11月には、国際学級の教員と外国（ブラジル）人児童の保護者の計画で、カナリーニョの会（料理教室）を開催し児童や保護者に参加してもらっている。今年は『パンケーキ』というミートソースを小麦粉の生地で包んだブラジルの料理を作り大好評であった。

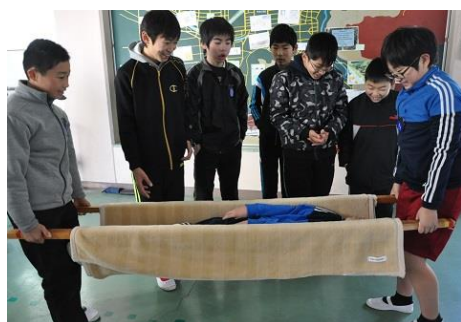
3年生の総合的な学習の時間では、『国際理解教育』をテーマに様々な活動に取り組んできた。『外国人講師による国際理解教室』では、ブラジルの歴史や建物・風景、ポルトガル語などを教えてもらい、一緒にブラジルの遊びを楽しんだ。『ブラジルのお菓子作り』では、教員の知人や保護者に講師になってもらい、『ブリディロ』を作った。ポルトガル語での説明を本校のブラジル国籍の児童が通訳する場面もあった。子どもたちは、「日本語もポルトガル語も話せてすごい。」「家でも作ってみたい。」「ブラジルのことをもっと知りたい。」などの感想をもった。3年生は、学習のまとめとして学芸会でいろいろな国のあいさつや歌、国旗や民族衣装を披露した。



学芸会で外国の歌を歌う3年生

### (4) 防災学習「守ろう 多米」

最高学年になり学校を引っ張っていこうという気持ちで、6年生はいろいろなことに取り組んできた。地震時に土砂災害が起こる危険性のある自分たちの地域に目を向け、自分たちに何かできないかということで、総合的な学習の時間に防災について学んだ。校区を歩いて危険個所を調べて防災マップを作ったり、緊急時に身の回りのもので助け合うための道具や生活するための道具を作ったりした。調べたり学んだりしたことをまとめ、校区の方や家族に伝えることができた。



毛布で作った担架で友達を運ぶ6年生